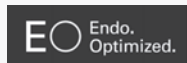


ベラビュー X800



Veraview X800+



Thinking ahead. Focused on life.

Veraview X800+

Expanding the Border of the X-ray

ベラビュー X800+は、CT / パノラマ / セファロ撮影を1台で可能にした All-in-oneタイプのX線診断装置。

最小 $\varnothing 30 \times H30$ mmの局所領域から、最大 $\varnothing 170 \times H145$ mmの顎顔面領域まで、幅広い選択肢から、目的に応じた撮影が可能です。

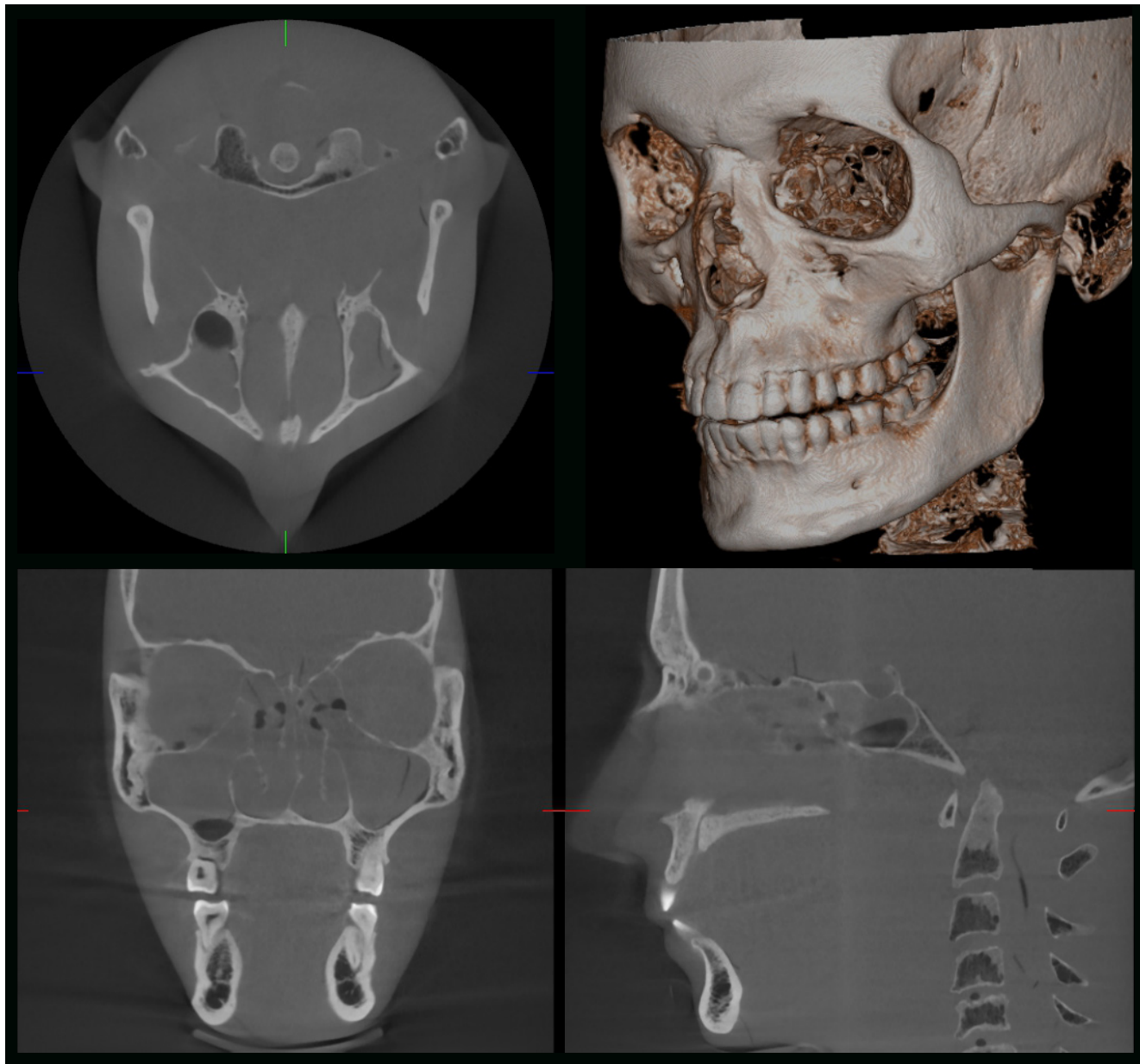
さらに局所領域での撮影には、根尖部周辺をより鮮明に撮影するEndoモードを搭載。ボクセルサイズ $80\mu\text{m}$ の高解像度CT撮影を実現しています。





Extended Field of View

170mmまで拡張されたFOV



顎顔面領域撮影 (Ø 170 x H 145 mm、320 μ m + NR)

幅広いFOVを高画質で撮影

根尖部周辺の局所から顎顔面領域まで、観察部位に応じて幅広い選択肢からの撮影領域の選択が可能です。広い領域を撮影したデータから、画像の一部を高分解能で再構成計算を行う、ズーム再構成機能により、撮影したデータを高精細・高画質で観察することができます。

Endo Mode with High Resolution

Endoモードでの高解像度撮影



Endoモード撮影 (Ø 30 x H 30 mm, 80μm + NR)



High Resolution (80μm)



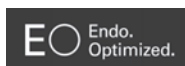
High Resolution (80μm)

根管の状態をより鮮明に写し出すEndoモード搭載

根尖部周辺をより鮮明に撮影するEndoモードを搭載。

ボクセルサイズ80μm、2.5LP/mm以上の高解像度CT撮影を提供します。

EndoモードはFOV Ø30xH30、Ø40xH40の撮影でのみ使用可能です。

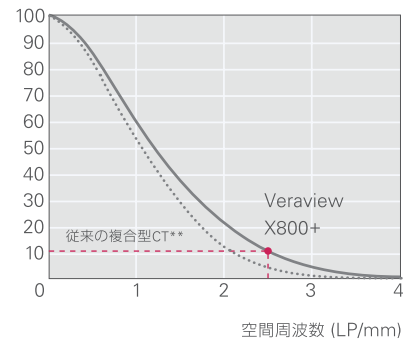


*空間分解能は、空間的にどの程度小さいものが見分けられるかを示します。一般的に空間周波数(ラインペア: LP/mm)で評価されます。これは1mmの空間に含まれる明暗を一組にした縞模様が何組識別できるかを指標とするもので、数値が高いほど解像度が高いことを表します。MTF (Modulation Transfer Function)は、ラインペア解像度の客観的な評価方法のひとつで、何ラインペアがどのくらいのコントラストで識別できるかを客観的に表すものです。一般的に、MTFが10%あれば目視での識別が可能であるといわれています。空間分解能はボクセルサイズだけで決まるものではありません。

**Veraviewepocs 3Df シリーズ

空間分解能*

MTF (%)



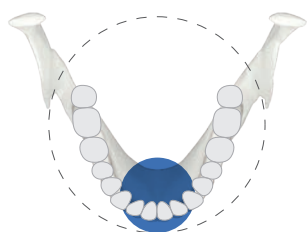
Various Fields of View

多彩なFOVで局所から顎顔面領域まで

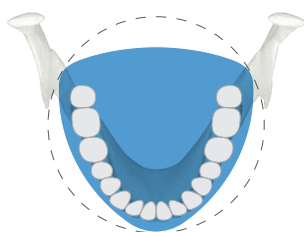
多彩なFOV搭載

Dental Arch FOVなど、計16種類の幅広い撮影領域を搭載。

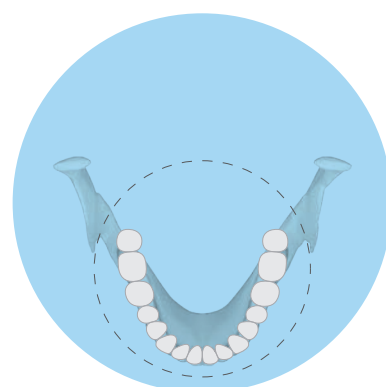
エンド、ペリオ、インプラント、矯正まで様々な症例に対応することができます。



エンド・局所領域撮影
(H 30 - 40mm)



歯列領域撮影
(H 40 - 80mm)



顎画面領域撮影
(H 50 - 145mm)

FOV		ボクセルサイズ		180度撮影	360度撮影	F40	R100	F170
局所領域	Ø 30	H 30	Endo Mode High Res	0.080 mm	○	○	○	○
	Ø 30	H 30	—	0.125 mm	○	○	○	○
	Ø 40	H 40	Endo Mode High Res	0.080 mm	○	○	○	○
	Ø 40	H 40	—	0.125 mm	○	○	○	○
	Ø 40	H 80	—	0.125 mm	○	○	○	○
歯列領域	Ø 60	H 60	—	0.125 mm	○	○	—	○
	Ø 80	H 40	—	0.125 mm	○	○	—	○
		H 50	—	0.125 mm	○	○	—	○
		H 80	—	0.125 mm	○	○	—	○
	R 100	H 40*1	—	0.125 mm	○	—	○	○
		H 50*1	—	0.125 mm	○	—	○	○
		H 80*1	—	0.125 mm	○	—	○	○
顎顔面領域	Ø 150	H 50*2	—	0.320 mm	—	○	—	○
		H 75*2	—	0.320 mm	—	○	—	○
		H 140*3	—	0.320 mm	—	○	—	○
	Ø 170	H 50*2	—	0.320 mm	—	○	—	○
		H 80*2	—	0.320 mm	—	○	—	○
		H 145*3	—	0.320 mm	—	○	—	○
		H 145*3	—	0.320 mm	—	○	—	○

Dose Reduction機能

X線の透過しやすい部位への照射線量を下げて撮影することで、患者さんへのX線量を最大40%低減*します。

*Dose Reduction 機能Off時との比較

幅広い拡張性

購入後のFOVのアップグレードにも対応しています。

*1 R100: Dental Arch FOV (Ø100 相当)

*2 データは180度撮影相当を使用します。

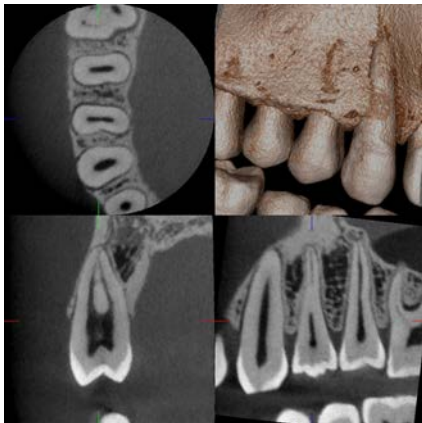
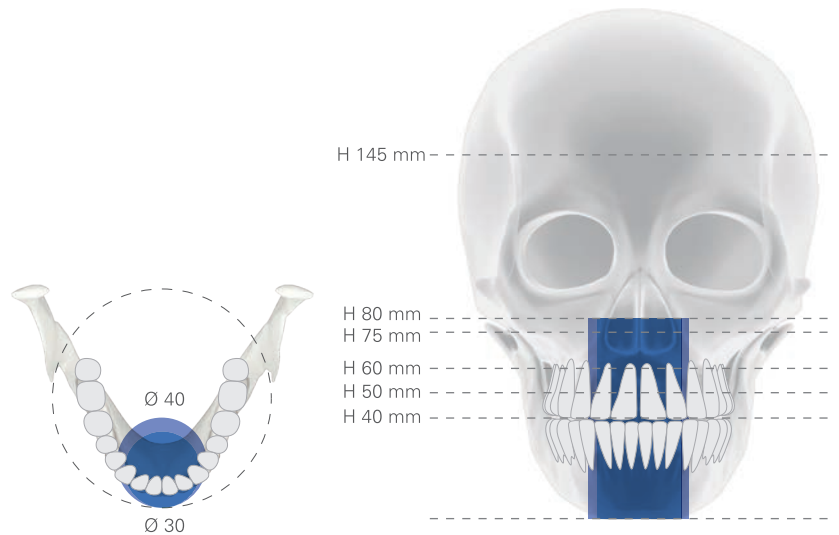
*3 360度撮影を上下合わせて2回撮影します。データは180度撮影相当を使用します。

Local Region / Endo Mode

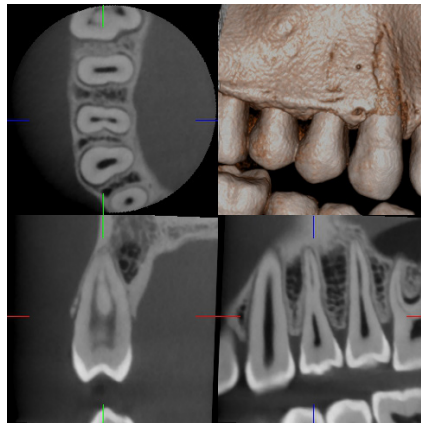
局所領域撮影 / Endoモード

FOV Ø30 の局所領域撮影

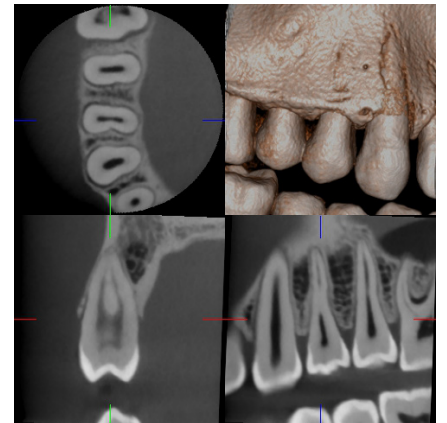
Ø30xH30、Ø40xH40の局所領域撮影では、根尖部周辺をより鮮明に撮影するEndoモードの選択が可能です。



Ø 30 x H 30 mm Endo Mode



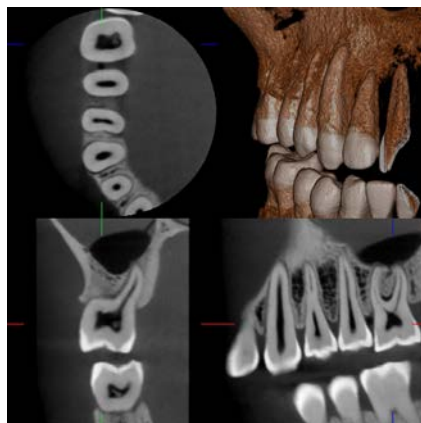
Ø 30 x H 30 mm High Resolution



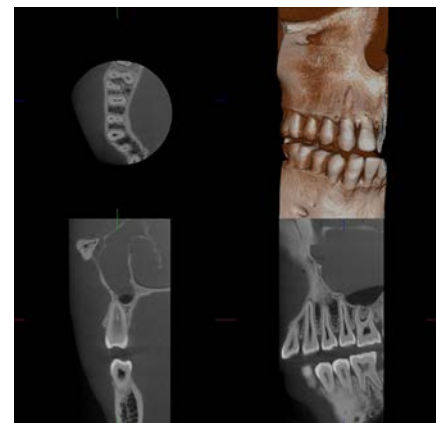
Ø 30 x H 30 mm



Ø 40 x H 40 mm Endo Mode



Ø 40 x H 40 mm



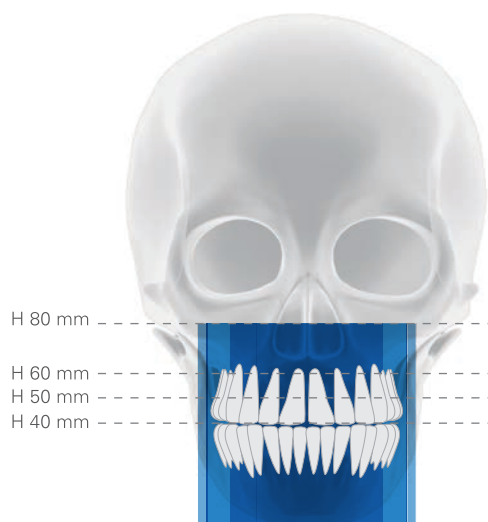
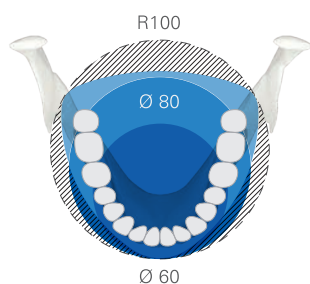
Ø 40 x H 80 mm

Dental Arch FOV

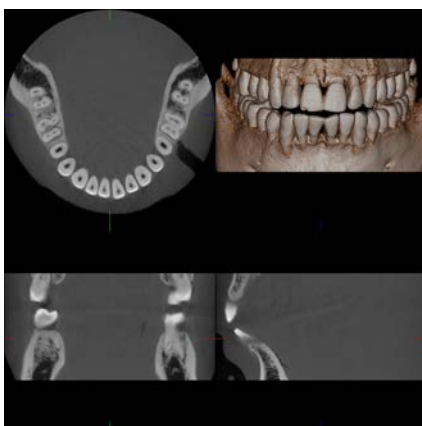
歯列領域撮影

Dental Arch FOV搭載

歯列弓にフィットさせた、 $\phi 100$ 相当の撮影領域 (FOV) を実現。より少ないX線量で全歯列の撮影を可能にしました。



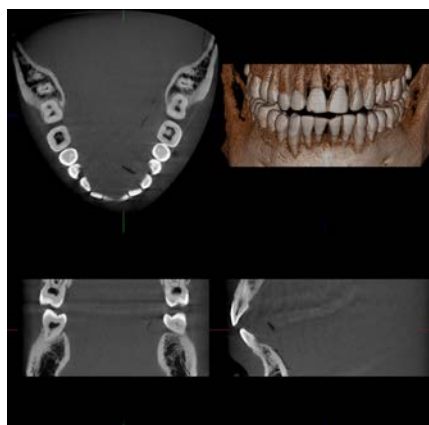
Ø 60 x H 60 mm



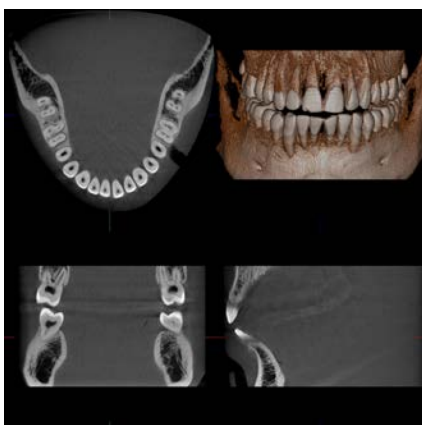
Ø 80 x H 40 mm



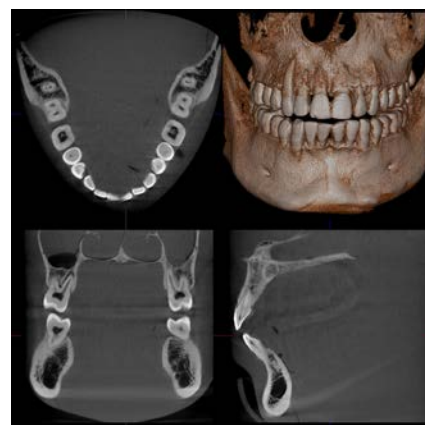
Ø 80 x H 80 mm



Dental Arch FOV (R100 x H 40 mm)



Dental Arch FOV (R100 x H 50 mm)



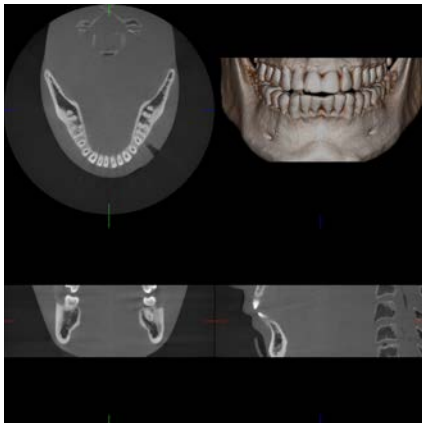
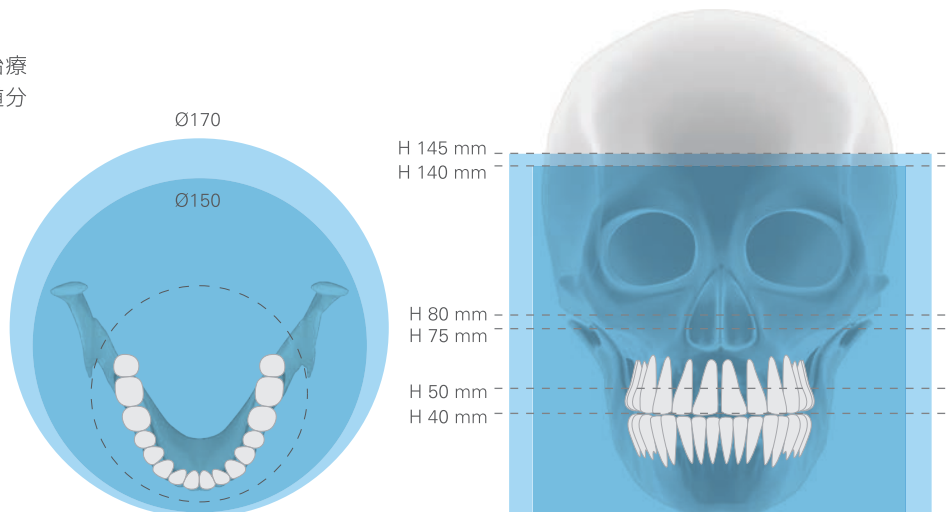
Dental Arch FOV (R100 x H 80 mm)

Maxillofacial Region

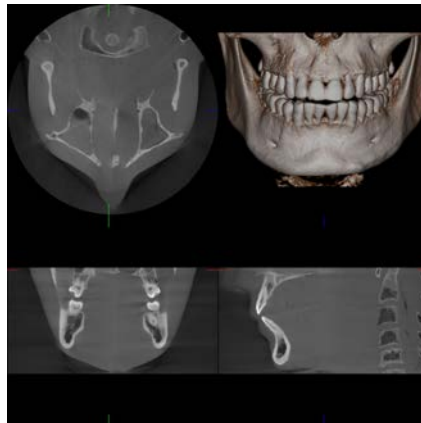
顎顔面領域撮影

最大 $\varnothing 170$ のFOV

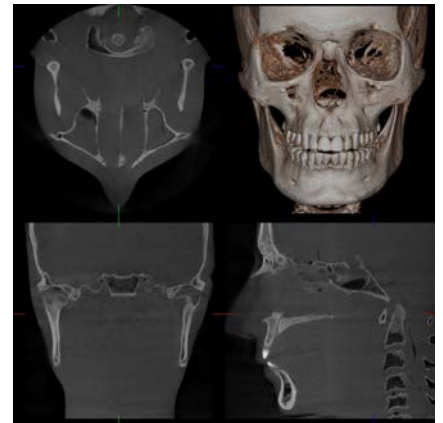
顎骨領域の撮影が可能。咬合、顎関節治療や矯正治療、睡眠呼吸障害治療時の気道分析等に有用です。



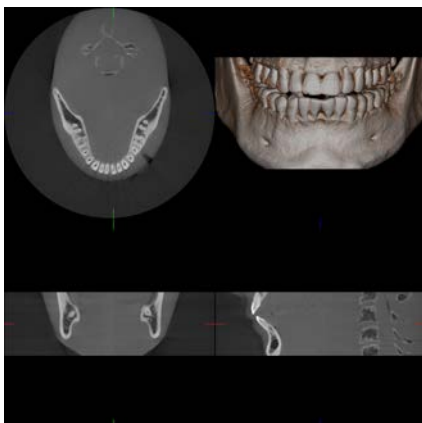
$\varnothing 150 \times H 50 \text{ mm}$



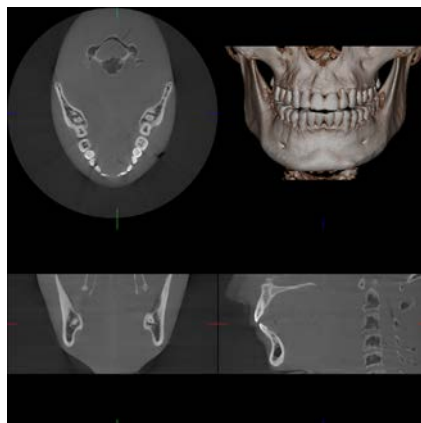
$\varnothing 150 \times H 75 \text{ mm}$



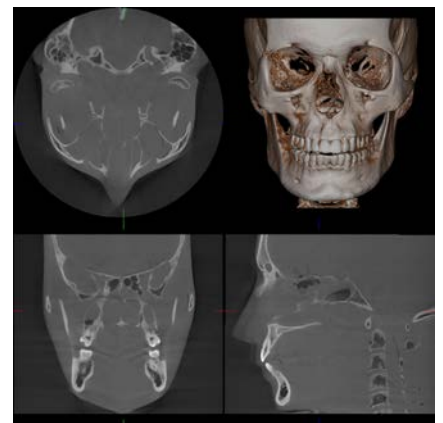
$\varnothing 150 \times H 140 \text{ mm}$



$\varnothing 170 \times H 50 \text{ mm}$



$\varnothing 170 \times H 80 \text{ mm}$



$\varnothing 170 \times H 145 \text{ mm}$

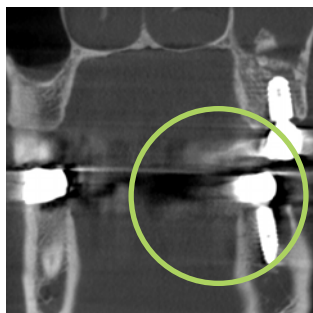
Horizontal Irradiation

水平照射

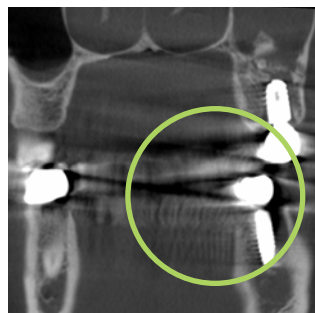


アーチファクトの少ない水平照射

CT撮影では、アーチファクトと歪みを低減させたX線水平照射を実現。



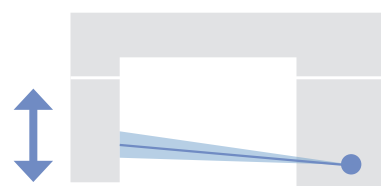
CT撮影画像(水平照射)



Veraviewpocs 3Df シリーズでの撮影
(打ち上げ照射)

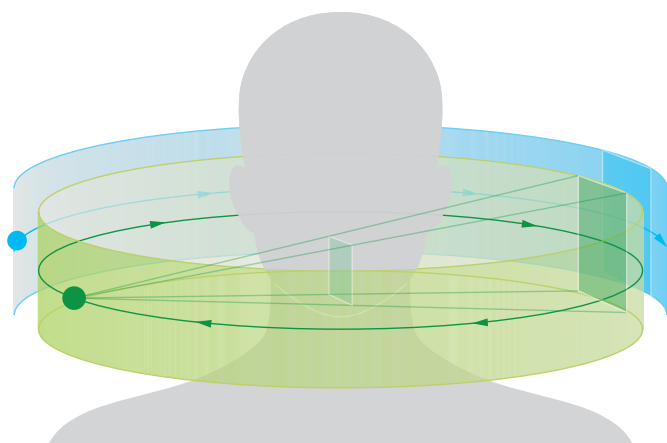
CT撮影とパノラマ撮影の両立

フラットパネルディテクタ(FPD)のシフトにより、CT撮影は水平に、パノラマ撮影は硬口蓋等の障害陰影を抑えるため、約5度の打ち上げ角度となるようX線の照射方向を切替。これによりCT、パノラマ両方の画質向上を実現しました。



Reconstruction Technology

再構成機能

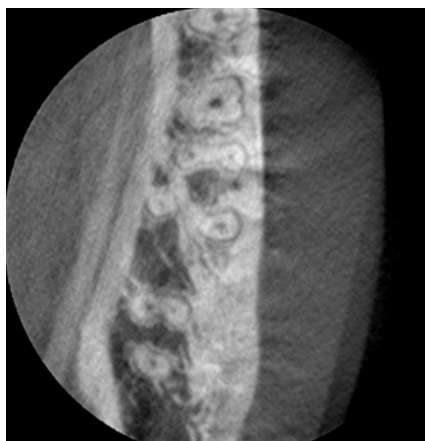


再撮影のリスクを軽減する

180度再構成機能*

CT撮影後、モーションアーチファクトにより再撮影が必要な場合でも、360度撮影をしていれば、動きの少なかった180度分の撮影情報から、再撮影することなく画像を作成することができます。

* FOV Ø 30 - 80 の撮影で使用可能です。

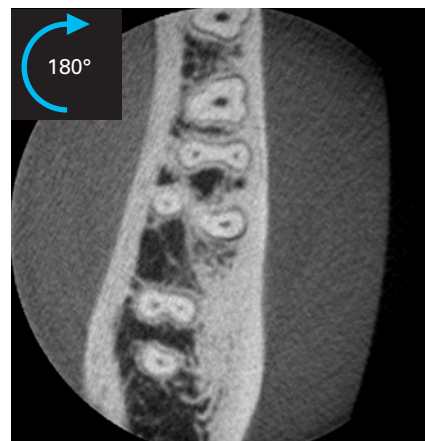


360度撮影中に患者さんが動揺し、アーチファクトが発生した画像

連続した任意の180度分の情報から画像を作成



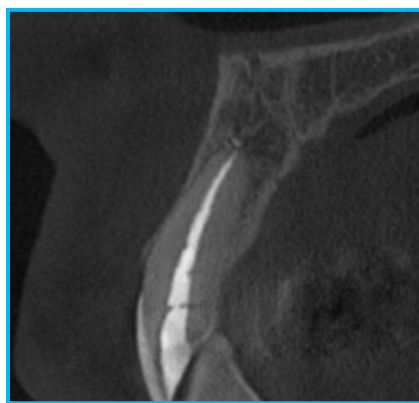
患者さんが動揺



360度撮影のデータから180度撮影分で再構成した画像



Ø170 × H80 mm (320 μ m)



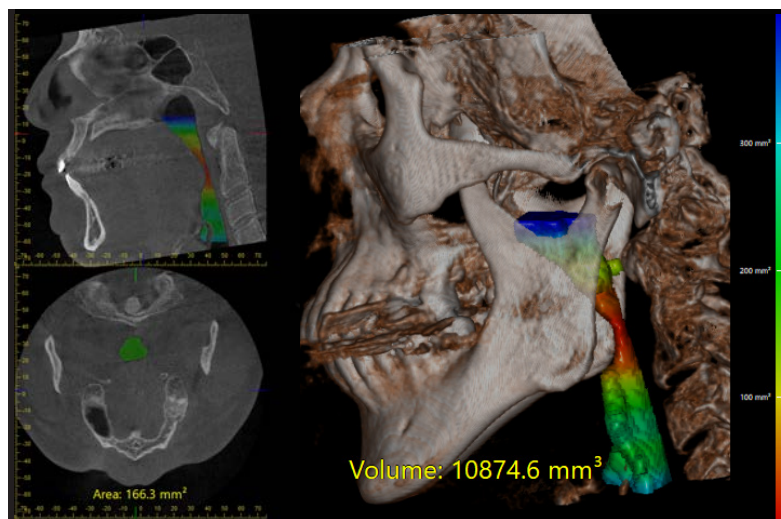
Ø40 × H40 mm (80 μ m)

ズーム再構成機能

撮影した画像の一部を切り出して、異なるボクセルサイズで再計算できます。再撮影することなく、最小80 μ mまでの高解像度の局所3D画像を得ることができます

Software-based Enhancement

ソフトウェアによる画像処理機能



気道描画画像 (対象撮影領域: Ø 150 x H 75 mm、Ø 150 x H 140 mm)

気道描画機能 (オプション) *

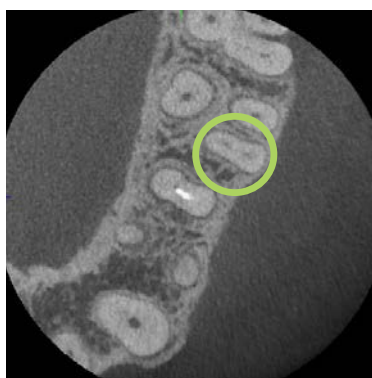
CT画像上で指定した範囲内の気道領域**を抽出してマーキングおよび3D表示を行うことで、気道領域を視覚化することができます。抽出した気道領域の体積や、閲覧中のスライス画像上の気道領域の断面積を表示します。患者さんに治療の必要性や効果を説明する場合などに活用できます。

*画像診断ワークステーション i-Dixel のオプション機能です。

**本機能における気道領域とは、ソフトウェア上で指定された範囲内の空気領域を指します。



NR OFF



NR ON

NR(ノイズリダクション)機能

病変の輪郭や微細な構造がより明確になり、細部の視認性向上が期待できます。



MAR OFF



MAR ON

MAR(メタルアーチファクトリダクション)機能 (オプション) *

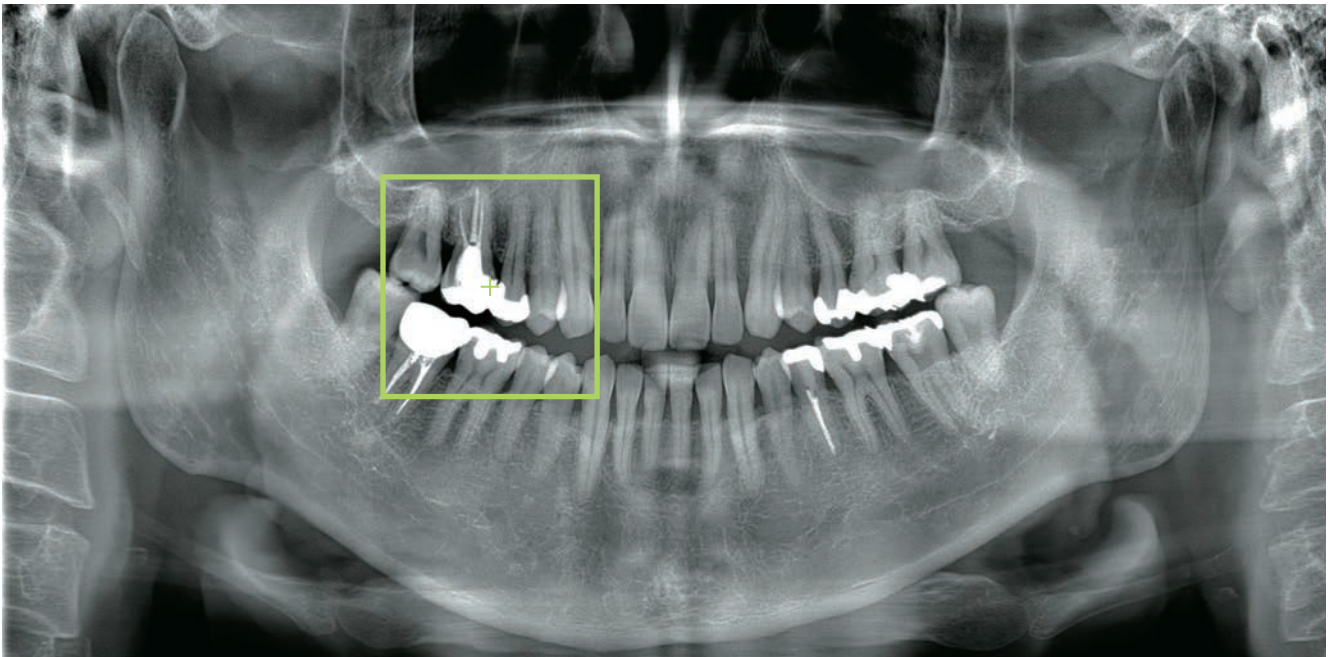
必要に応じてご使用いただくことで、メタルアーチファクトを低減した再現性の高い画像を取得できます。

*MARは偽像が現れることがあります。

*画像診断ワークステーション i-Dixel のオプション機能です。

CT Positioning with Scout

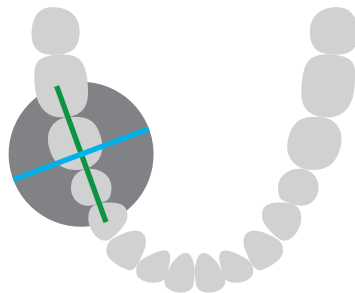
パノラマからCT撮影を自動位置付け



パノラマ画像

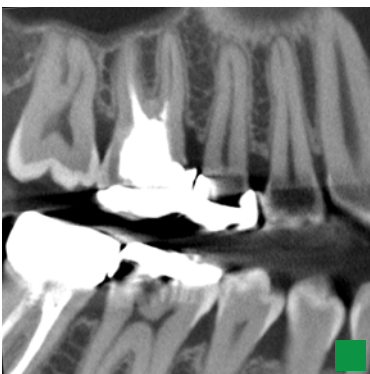


軸位断面像

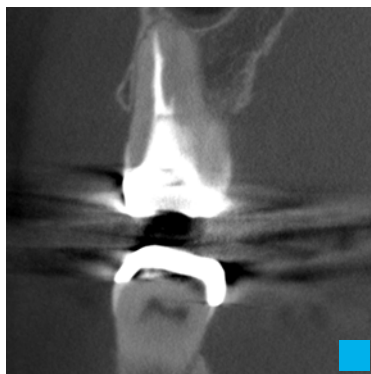


パノラマスカウト

パノラマ画像上で関心領域を指定することで、簡単に小照射野CT撮影時の位置付けと撮影が可能。患者さんへの負担を低減します。CT撮影後は、パノラマ画像上のクロスマークをダブルクリックすると、その領域のCT画像が表示できます。



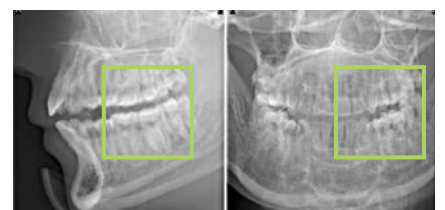
矢状断面像



前頭断面像

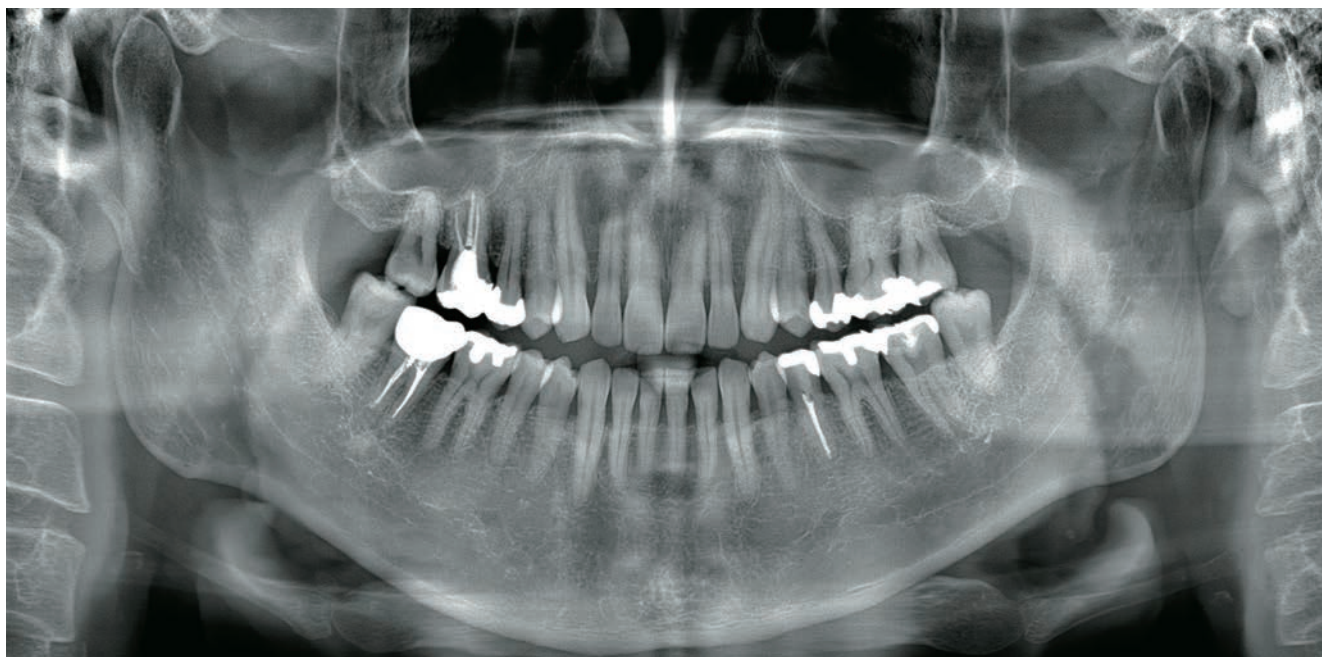
2方向スカウト

側面と正面の2方向からスカウト撮影を行い、画像上で関心領域を指定することで、正確に小照射野撮影時の位置付けとCT撮影が可能です。



Panoramic Imaging

パノラマ撮影

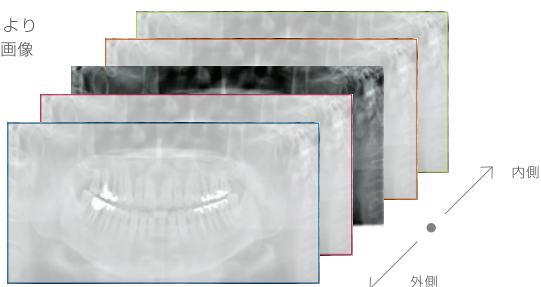


AFP + AGS + AIE-HD

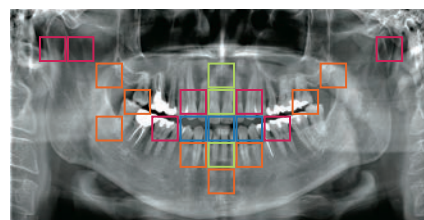
全域に渡って読影しやすいパノラマ画像

全域に渡ってフォーカスの合った画像を取得できるAFP（全顎自動焦点補正）機能にAGS（自動濃度強調）機能、AIE-HD（オートイメージエンハンサー）機能を合わせることで、求められる部位を観察しやすい画像にして提供します。

1. 断層撮影により
得られる複数の画像



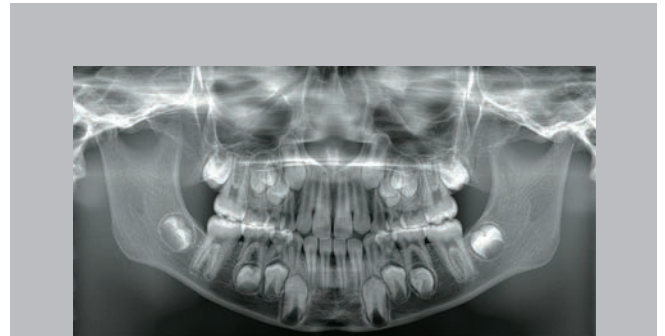
2. フォーカスの合っている
部分を抽出し全域で
フォーカスの合った画像を
取得





標準パノラマ(上部カット)

上部へのX線をカットし、水晶体への照射線量を低減します。



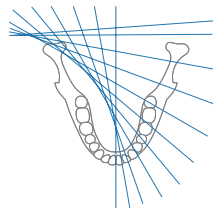
小児パノラマ

お子様や顎の小さい患者さんの場合、撮影範囲を小さくし、照射線量を低減します。



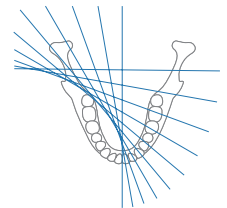
顎骨パノラマ

下顎枝の障害陰影の少ない画像が撮影できます。



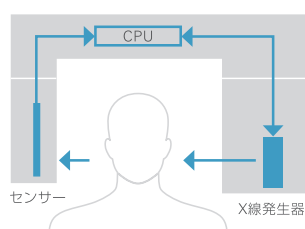
直交パノラマ

X線入射を歯列に対して直交させることで、隣接歯の重なりが少ない画像が得られます。



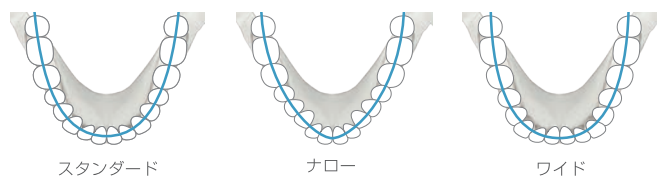
DDAE(デジタル ダイレクト オート エクスポージャー)機能

撮影中にFPDで検出した透過X線量をリアルタイムにフィードバックすることで、X線量を最適条件にコントロールし、画像のダイナミックレンジを向上させます。



歯列形態に合わせた断層軌道

患者さんの歯列形態に合わせて、3種類の軌道から選択が可能です。



Panoramic Imaging

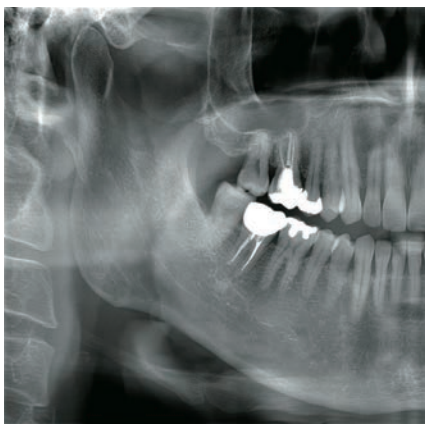
パノラマ撮影



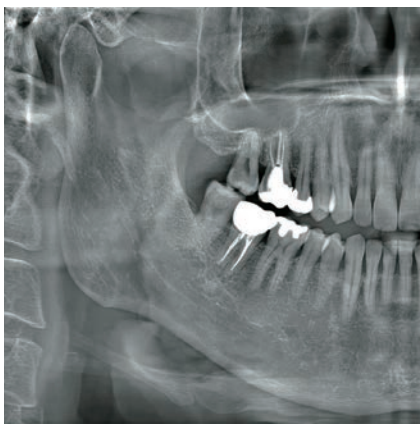
AGS2 ON

AGS(自動濃度強調)機能

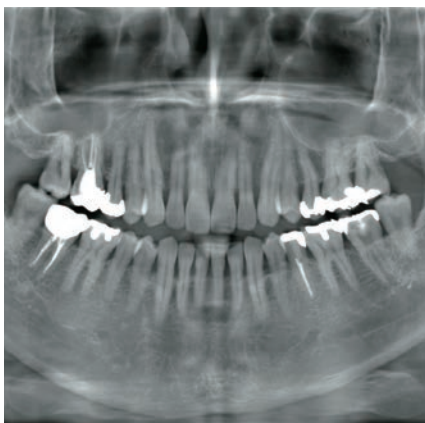
歯列、顎骨、顎関節などの各部分に適したコントラスト調整を自動的に行うことで、メリハリがあり且つ全体が観察しやすいパノラマ画像を提供します。目的に応じてAGS、AGS2の2種類より選択が可能です。



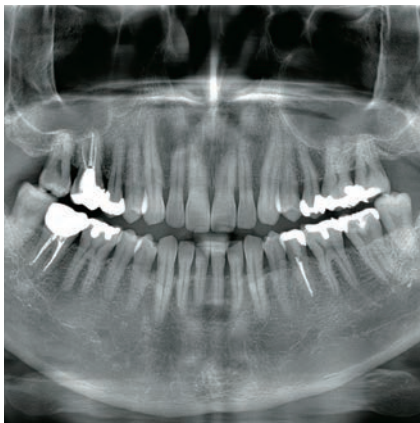
AGS OFF



AGS ON



AIE-HD OFF



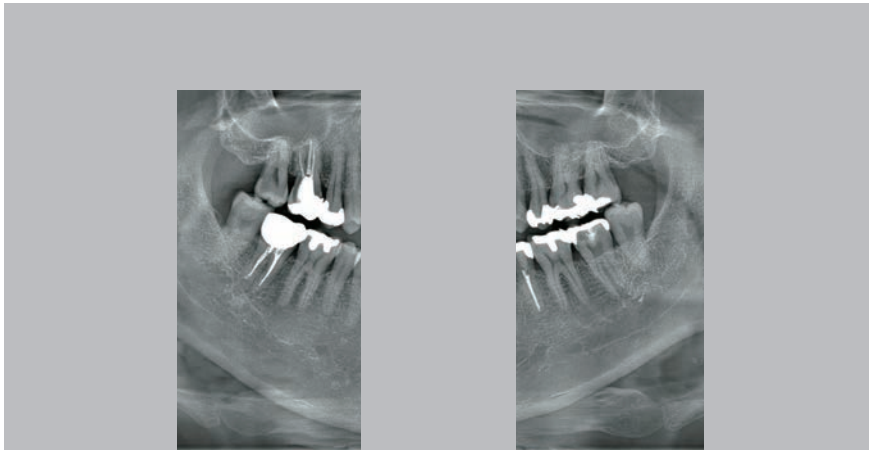
AIE-HD ON

AIE-HD(オートイメージエンハンサー)機能

パノラマ画像に最適化した画像処理を行うことで、細部までくっきりとした画像を表示します。

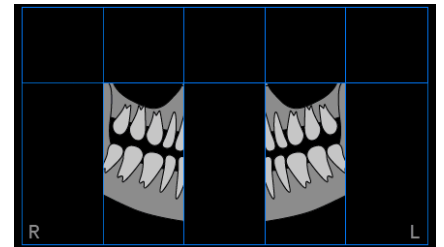
Partial Panoramic Imaging

部分パノラマ撮影



部分パノラマ(歯列)撮影

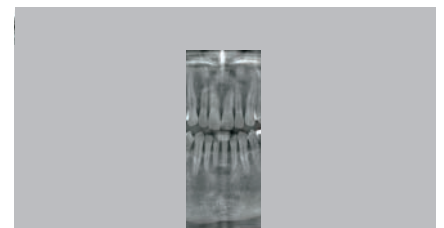
パノラマ撮影時、必要の無い領域を除外して、患者さんへのX線照射線量を低減した撮影が可能です。疼痛の部位が限定されている患者さんや、開口障害、嘔吐反射によってデンタル撮影が困難な患者さんに有用です。



前歯部から大臼歯部までの撮影



右側大臼歯部の撮影

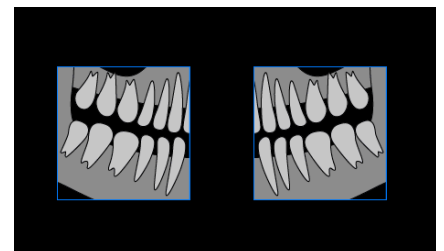


前歯部の撮影



部分パノラマ(バイトウィング)撮影

X線入射を歯列に対して直交させることで、隣接歯の重なりが少ない画像が得られます。隣接面のう蝕診査や軽度な歯周炎の診断、また補綴物の確認に有用です。撮影は、両側、右側、左側より選択が可能です。



Cephalometric

ワンショットセファロ

ワンショットセファロ

セファロ撮影はスキャンセファロとワンショットセファロの2タイプより選択が可能です。ワンショットセファロは、頭頂部、後頭部*¹まで、頭部のほぼ全体が収まる広い領域を、0.5秒*²のワンショットで撮影。モーションアーチファクトを低減し、鮮明な画像を取得できます。

高いコントラスト分解能

ダイナミックレンジ*³が広い検出器により、高いコントラスト分解能を実現しました。メリハリのある骨画像と、明瞭な軟組織表面の描出により、セファロ分析における計測点抽出を容易にします。

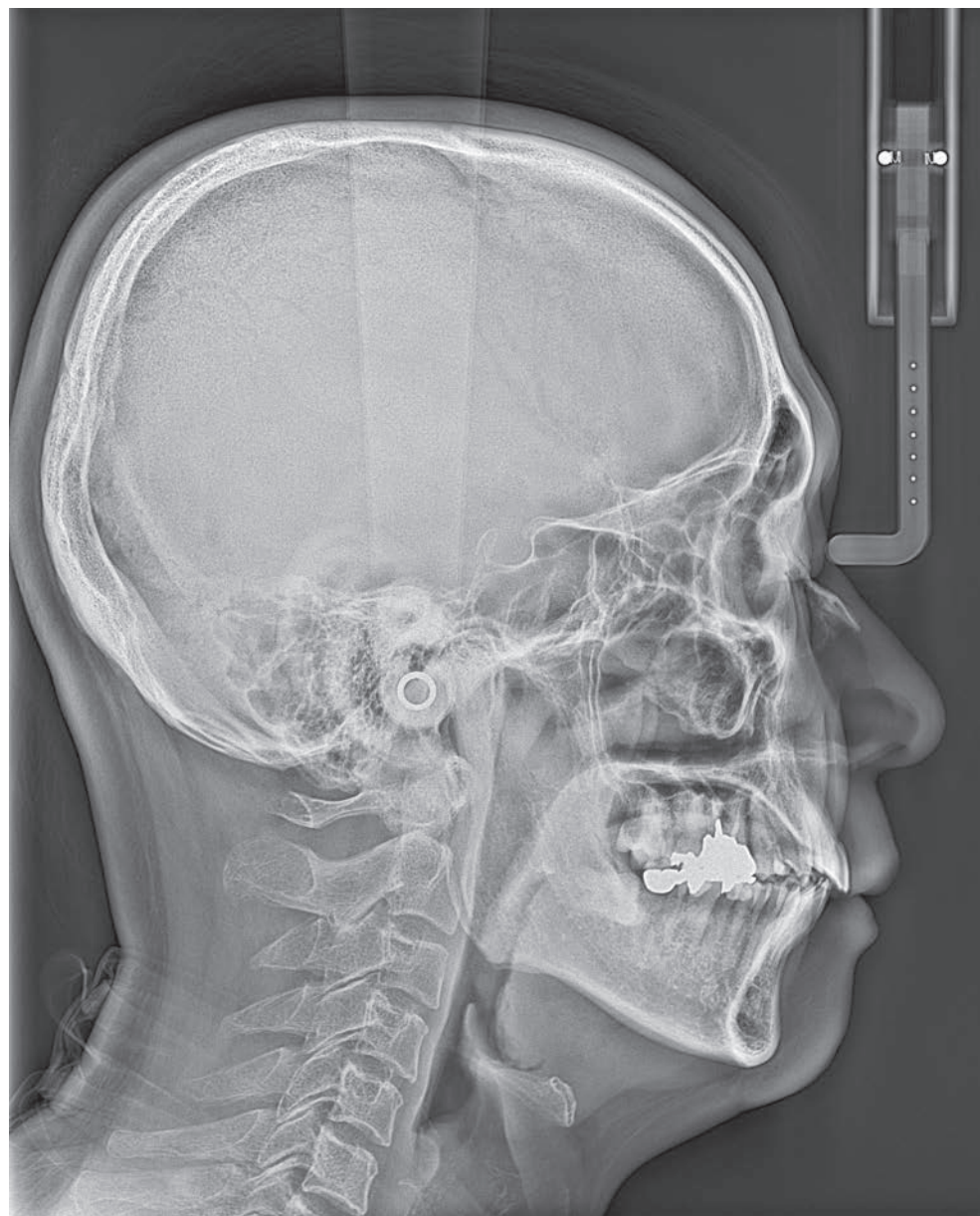
*¹ 患者さんの大きさや頭部形状によっては撮影領域に収まらない場合があります。

*² 小児モードでの撮影時
(最短0.3秒まで設定可能)

*³ ダイナミックレンジとは、応答できる最小と最大の入力比を表します。ダイナミックレンジが広いとは、小さいX線入力から大きいX線入力まで、画像化できるX線入力の範囲が広いという意味です。



広い撮影領域

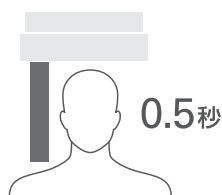


LA画像 W250 x H300 mm

短時間撮影

僅か0.5秒*⁴のワンショット撮影により、モーションアーチファクトを低減します。

*⁴ 小児モードでの撮影時



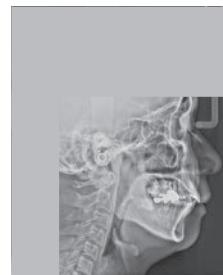
患者サイズ	照射時間
C (小児)	0.5 秒
S (Small)	0.7 秒
M (Middle)	0.8 秒
L (Large)	0.8 秒



PA画像 W200 x H300 mm

部分セファロ

必要に応じて、頭頂部・後頭部へのX線照射をカットし、低い照射線量で撮影が行えます。



PA画像



LA画像

手の平撮影

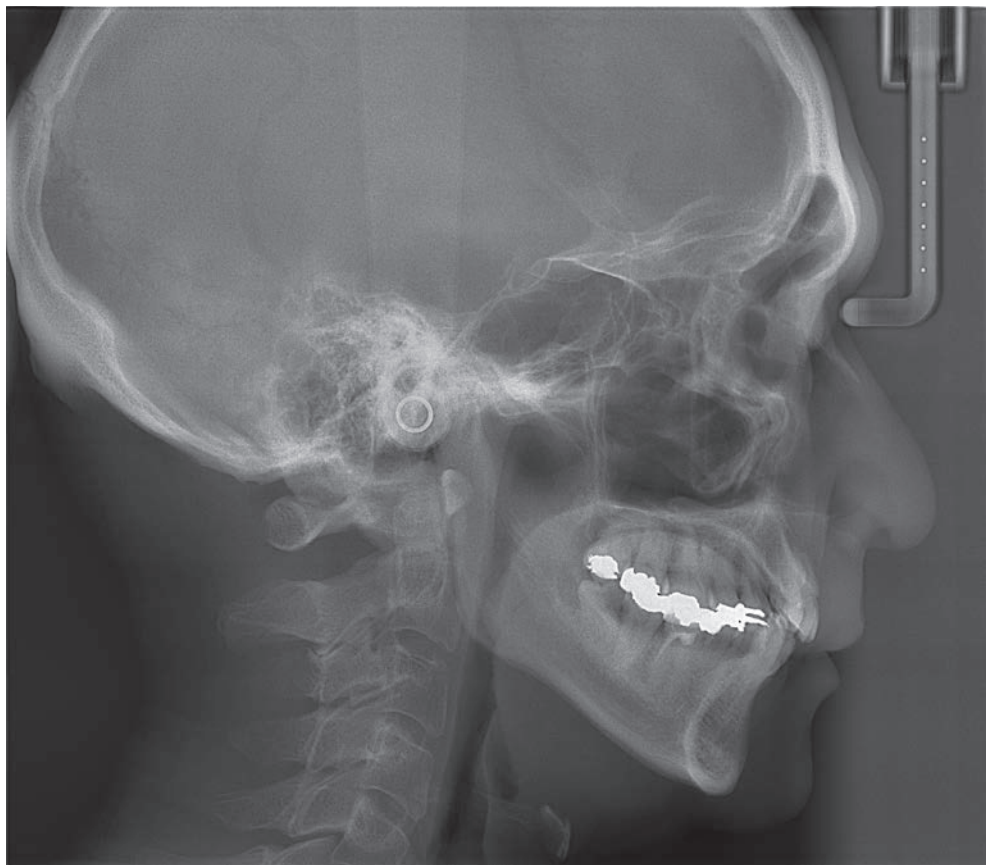
成長、発育の段階を確認する手の平（手根骨）撮影が可能です。



手の平画像 W200 x H220 mm

Cephalometric

スキャンセファロ



高画質セファロ

スキャンセファロは管電圧を100kVに上げることで、透過性の高い画像を実現。

トレースポイントを見つけやすい96 μ mの高解像度画像が得られます。患者さんのサイズに合わせて5mm単位で設定可能な軟組織フィルターを搭載しています。



部分セファロ

カットする領域を3パターンから選択可能。

患者さんへのX線量を低減することが可能です。



手の平撮影

成長、発育の段階を確認する手の平(手根骨)撮影が可能です。

手の平画像 W200 x H220 mm

Face-to-Face Design

コミュニケーションを促進する対面式



対面式で簡単位置付け

患者さんとコミュニケーションをとりながら、より正確なレーザービーム位置付けが可能です。

車椅子対応

チンレストの高さが865mmまで下がるので、車椅子の患者さんにも位置付けしやすい高さです。

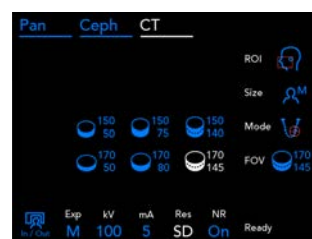
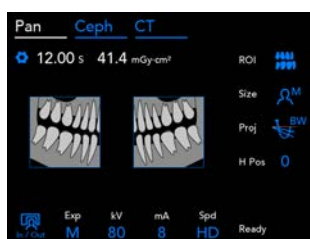
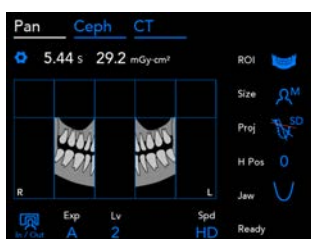
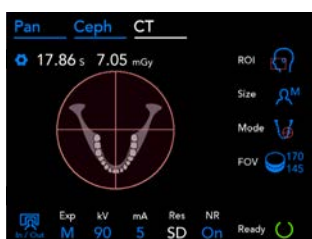
コントロールパネル

自在に動くことで、位置付け時に前方・側方から操作しやすく、患者さんから目を離すことなく設定、確認することが可能です。



ユーザーインターフェース

直感的に操作できるタッチパネルを採用。



Network System in Clinic

お使いのPCやタブレットと連携

i-Dixel WEB

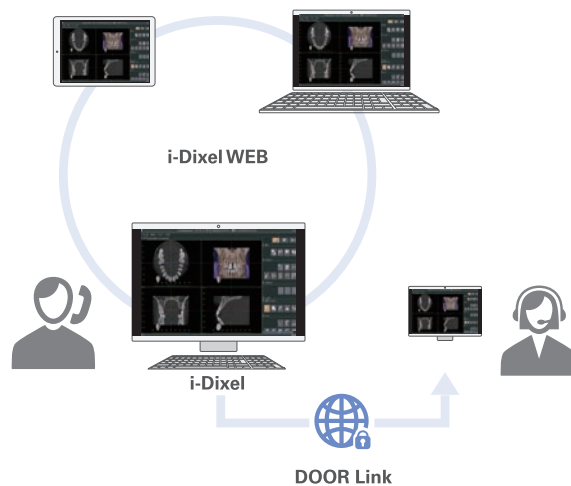
特別なソフトをPCにインストールすることなく、WEBブラウザを利用してCT画像や2D画像などの患者情報をPCやタブレットで表示し、説明に利用できるシステムがi-Dixel WEBです。

i-Dixel WEBは、画像診断ワークステーション i-Dixel のオプション機能です。

i-Dixel 医療機器認証番号: 226ACBZX00067000

MDS (Morita Digital Solution)

クリニックにおけるすべてのステップ・プロセスにおいての全体最適化。限られた方への恩恵ではなく、すべてのスタッフ・すべての患者さんに対してDXの恩恵を受けて頂けるDigital Solutionです。



CT / パノラマ
標準ベース仕様



CT / パノラマ / ワンショットセファロ
小ベース仕様



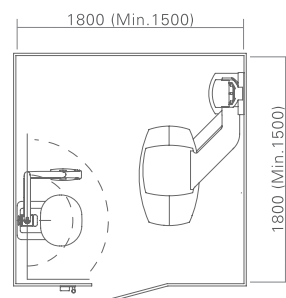
CT / パノラマ / スキャンセファロ
標準ベース仕様

Industrial Design: f/p design gmbh



製品情報

X線撮影時には必要に応じて防護服を着用してください。
設置に際しては、床および壁面に固定する必要があります。
最小設置寸法では、操作時、入退室時のスペースが狭くなる場合があります。



Diagnostic and Imaging Equipment

Treatment Units

Handpieces and Instruments

Endodontic System

Laser Equipment

Laboratory Devices

Educational and Training Systems

Auxiliaries



株式会社 モリタ

大阪本社 大阪府吹田市垂水町3-33-18 〒564-8650 T 06. 6380 2525
東京本社 東京都台東区上野2-11-15 〒110-8513 T 03. 3834 6161
お問合せ お客様相談センター T 0800. 222 8020 (フリーコール)

株式会社 モリタ製作所

本社 京都府京都市伏見区東浜南町680 〒612-8533 T 075. 611 2141

Morita Global Site: www.morita.com

More Infos about Products: www.dental-plaza.com

Catalog Design: f/p design gmbh

ご使用に際しましては、製品の添付文書及び取扱説明書を必ずお読みください。

仕様及び外観は製品改良のため予告なく変更することがありますのでご了承ください。

このカタログに記載されている社名又は商品名は(株)モリタ、(株)モリタ製作所の保有する商標又は登録商標です。

Endo. Optimized. とは、より良い根管治療のための、モリタ独自の技術を持つ製品に付されるブランドです。

Endo. Optimized. は、医療機器の効果機能を示すものではありません。

購入後、ユーザーサポートアプリMyMoritaを利用することで保証書管理や取扱説明書の閲覧などが行えます。

製品の色は印刷のため、実際とは異なる場合がございます。

写真には一部オプション装備が含まれています。

PUB: NO. M207.1830-2-000.1305.8,000PH-KO-Z